新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に必ずお読みください。

【新型コロナウイルス感染症とは】

新型コロナウイルス感染症は、呼吸器感染症のため、症状は発熱・咽頭痛・咳等が中心となります。高齢者や基礎疾患がある場合は、重症化のリスクがあるとされています。

【予防接種の効果】

ワクチン接種には、発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが確認されています。

【予防接種ができない人】

一般に、以下の人は、ワクチンを接種することができません。ご自身が当てはまると思われる人は、ワクチンを接種してもよいか、主治医にご相談ください。

- ① 明らかに熱のある人（一般に37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっている人
- ③ ワクチンの成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症（*1）の既往歴のある人
- ④ 接種医師が不適切な状態と判断した人

（*1）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等アナフィラキシーを疑わせる複数の症状

【予防接種を受ける前に主治医と相談する必要がある人】

- ① 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ② 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
- ③ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状が出た人
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人

ワクチン接種は体調の良いときに受けるのが基本です。特に基礎疾患のある人は、病状が悪化していたり、全身が衰弱している場合は避けた方がよいと考えられます。心配な人は主治医にご相談ください。

【予防接種を受けた後の一般的な注意】

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。その場合は、接種医師にすぐに連絡をしてください。
- ② 予防接種の副反応の多くは、24時間以内に出現しますので、この間は体調に十分注意をしてください。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- ④ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や過度の飲酒は避けてください。

【副反応について】

- ・主な副反応として、接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等が見られることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・稀な頻度ですが、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。アナフィラキシーが起きたときには、医療機関ですぐに治療を行うことになります。
- ・頻度としてはごくまれですがmRNAワクチンでは、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れた場合、速やかに医療機関を受診してください。

接種後気になる症状があった場合は、速やかに接種医にご相談ください。

【接種費用】

予防接種の費用は、1人1回のみ、一部公費負担します。

生活保護世帯の人は接種費用が無料となります。接種券を交付しますので事前に窓口で申請してください。

【予防接種による健康被害救済制度について】

定期予防接種によって引き起こされる副反応により、医療機関での治療や生活支援が必要になるような障害を残すなど健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。その健康被害が予防接種によって引き起こされたものなのか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合には給付を受けることができます。

【問い合わせ】

甲斐市役所 健康増進課 本館1階1番窓口 TEL 055 (278) 1694
FAX 055 (278) 2046